おのまち

社協だより

～人と人とが共に助け合いやさしさあふれるまちづくり～

小野町社会福祉協議会
発
H30.10.25
行
第57号

敬老会でのボランティアの様子

福祉施設でのボランティアの様子

小野町ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい方と来てほしい方をつなげ、ボランティア情報の提供や活動に関する相談を受付けておりますので、興味がある方はボランティアセンターまでご連絡ください。

小野町ボランティアセンター
☎0247-72-6866

小野町地域包括支援センターです！

地域包括支援センターは、小野町から委託を受けて、高齢者のみなさんが住み慣れた地域で安心した生活を続けられるように支援を行う機関です。

さまざまな相談ごと

- 高齢者の皆さんやそのご家族などから、さまざまな相談をお受けいたします。
- 毎日の生活の中で困っていることや、心配ごと、相談したいことはありませんか？

介護や健康づくりのお手伝い

- 高齢者の皆さんやそのご家族などから、さまざまな相談をお受けいたします。
- 毎日の生活の中で困っていることや、心配ごと、相談したいことはありませんか？

権利を守ること

- 財産管理が不安になってきた。
- 悪質な訪問販売にお困りのとき。
- 虐待の早期発見、防止。

「もしかしたら」と思ったら、ご連絡、ご相談ください。

暮らしやすい地域のために

- 皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、サービス提供事業者への支援を行い、さまざまな職種や機関と連携するための地域のネットワークづくりを進めます。

福祉車両貸出

車いすの方でも外出できるように、車いす用の車両貸出を行っております。

福祉車両が分からない方でも、当協議会の職員が丁寧に説明を行い、ご家族でお出かけ・ご旅行・病院などの送迎を快適に行えるようサポートいたします。

福祉基金・資金貸付事業

■福祉基金（主体 小野町社会福祉協議会）

小野町に居住する**低所得世帯**に、無利子・無担保で貸付を行います。

■生活福祉資金（主体 県社会福祉協議会）

福島県に居住する**低所得世帯**に貸付を行います。
※審査については、県社会福祉協議会で行います。

内容
- 失業により再就職するまでのつなぎ資金
- 自立のための一時的な資金
- 緊急に生計が困難となった場合
- 学校にかかる費用　等

日常生活自立支援事業（あんしんサポート事業）

認知・知的・精神障がい者などの**判断能力が不十分な方**が、自立に向けた生活を送れるようサポートを行う事業です。

主な内容
- 日常生活の金銭管理
- 福祉サービスの利用援助

利用料

初回相談時から契約までは無料
1時間1,000円
以降30分ごとに350円加算
※生活保護受給者は無料です。

契約までの流れ

相談 ⇨ 訪問調査 ⇨ 支援計画作成 ⇨ 契約 ⇨ サービス開始

無料 → 有料

編集後記

朝晩めっきり涼しくなり日が短くなってまいりましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。

季節の変わり目は体調を崩しやすくなりますので、衣類調整や栄養・睡眠をよくとって風邪をひかないように注意してください。当協議会でも職員一同体調に気をつけ安心安全なサービスを提供できるよう行ってまいります。

社会福祉法人小野町社会福祉協議会
〒963-3401 田村郡小野町大字小野新町字美売57番地1
TEL 0247-72-6866　FAX 0247-71-0471
MAIL ono-shakyo@sunny.ocn.ne.jp

○小野町指定相談支援事業所
TEL 0247-61-6101　FAX 0247-71-0471

○小野町居宅介護支援センター
TEL 0247-72-6377　FAX 0247-71-0471

○小野町デイサービスセンター
TEL 0247-72-6777　FAX 0247-72-0790

○小野町地域包括支援センター
〒963-3401 田村郡小野町大字小野新町字品ノ木111
TEL 0247-72-2128　FAX 0247-61-6102

小野町社会福祉協議会では個人情報保護法に関して適用されている法令、国が定める方針その他の規範を遵守し、保有する個人情報の保護に努めます。

地域の福祉活動を応援する募金『赤い羽根』
～赤い羽根共同募金にご協力をお願いします～

今年も10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金運動が実施されています。
赤い羽根共同募金は、社会福祉法に基づいて全国一斉に行われる、地域福祉の推進を図るための募金運動です。
昨年の共同募金運動では、小野町全体でご協力をいただき、学校や団体などの福祉活動に役立たせていただくことができました。誠にありがとうございました。
今年も、皆様のあたたかいご協力をお願いします。

募金の流れとお金の使い道について

29年度、小野町の皆さまからお寄せいただいた募金

2,825,730円

内訳		
	赤い羽根共同募金	1,866,562円
	地域歳末たすけあい募金	959,168円

赤い羽根 1,866,562円

小野町の福祉のため　1,049,562円
- ・各種福祉団体助成
- ・小中学校ボランティア活動普及事業
- ・歳末たすけあい
- ・共同募金資材及び事務費
- ・ボランティアセンター広報活動費

県域全体の福祉のため　817,000円
- ・県内の福祉施設・福祉団体、NPO法人
- ・ボランティア団体災害時の積立金など

地域歳末たすけあい 959,168円

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるように、1世帯5,000円の見舞金配布を行います。

昨年度の募金活動

浮金小学校様

小野新町小学校様

小野町ゲートボール協会様

街頭募金の様子

○税制上の優遇措置があります。

個人寄付の場合

寄付金が2千円を超える場合、所得税の寄付金控除および住民税の寄付金税額控除の対象となります。所得税における控除では、所得控除か税額控除のどちらかを選択することができます。

法人寄付の場合

株式会社などの法人の場合は寄付される金額について「全額損金」扱いとなります。

共同募金についてのお問い合わせ
小野町共同募金委員会
小野町大字小野新町字美売57-1
TEL.0247-72-6866

社協だよりは赤い羽根共同募金の配分金を受けて発行しています。

平成29年度　決算及び事業報告

法人運営事業

〈組織運営事業〉
理事会の開催 5回
評議員会の開催 1回
臨時評議員の開催 2回
社会福祉協議会会費 3,014戸
寄付金　篤志 5件　遺志 106件

〈地域福祉の推進〉
ふれあいあったかサロン事業 14団体
障がい者サロン事業 1団体

〈在宅福祉サービス事業〉
寝具丸洗い乾燥消毒サービス 28件
出張理髪サービス 19件

〈福祉車両・備品貸出事業〉
福祉車両貸出 35件
車椅子貸出 3件

〈心配ごと相談支援事業〉
資金の相談 7件
金銭管理 1件
障がい者福祉 1件

〈生活困窮者自立支援事業〉
生活福祉資金（貸付事業）
自立相談支援機関（就職活動）

〈日常生活自立支援事業〉
契約者数（30年3月現在）7名
相談件数 231件
対応時間 189時間

〈広報活動事業〉
社協だより年3回発行、ホームページ運営

〈各種団体への支援〉
福祉団体への助成事業 6団体
三世代交流事業への助成金 12団体

〈ボランティア推進事業〉
ボランティア育成事業 5校

障がい者福祉事業

〈相談支援事業所〉
計画作成 72件
モニタリング 45件
障害支援区分認定調査等業務受託 19件

共同募金事業

〈赤い羽根共同募金〉
赤い羽根共同募金総額 1,866,562円
赤い羽根配分金
広域配分 817,000円
地域配分 1,049,562円

〈歳末たすけあい募金〉
歳末たすけあい募金総額 959,168円
歳末たすけあい見舞金配分件数 170件

小野町地域包括支援センター

〈包括的支援事業〉
総合相談支援業務 644件
権利擁護業務 6件
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
介護支援推進会議の開催 5回
介護支援専門員からの相談 45回

〈地域包括支援ネットワークの構築〉

〈指定介護予防支援事業〉
ケアプラン作成件数 744件

〈地域包括ケアシステム構築〉
地域ケア会議、在宅医療・介護連携推進事業、生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業

〈任意業務及びその他の業務〉

介護保険事業サービス

〈居宅介護支援センター〉
居宅介護支援介護料 1,919人
認定調査受託業務 86件

〈デイサービスセンター〉
通所介護　延利用者数 9,963人
認知症対応型通所介護事業
延利用者数2,380人

《支出》

《収入》

理事・評議員の選任について

評議員

6月1日開催の評議員解任委員会において、新たな評議員が選任されました。

選任者　先﨑 幸雄　根本 孝夫

退任者　村上 形之助　吉田 眞

理　事

6月22日開催の評議員会において、新たな理事が選任されました。

選任者　阿部 徳夫　先﨑 勝馬

退任者　松本 幸一　吉田 恭正

退任されました評議員・理事の皆様、在任中は小野町の社会福祉の発展のためご尽力をいただき、ありがとうございました。

小野町防災避難訓練

平成30年9月9日、小野町立小野中学校において、小野町防災訓練が行われました。

小野町社会福祉協議会は、日赤奉仕団すみれ会と合同で、500食分のカレーライスの炊き出し訓練を行い、小野中学校少年消防クラブには、配食ボランティアとして参加していただきました。また、住民避難訓練に参加し、災害ボランティアセンターの立ち上げと、高齢者や障がい者等を避難所から別な福祉避難所へ移送する訓練にも参加しました。

西日本豪雨災害義援金

小野町立小野中学校ボランティア委員会及び先生方より「平成30年7月西日本豪雨災害」への義援金が寄せられました。

義援金につきましては、日本赤十字社福島県支部を通しまして、日本赤十字社から被災地にお届けいたします。

すみれ会贈呈式

平成30年8月9日(木)日本赤十字社福島県支部小野町分区 大和田 昭 分区長よりすみれ会の30周年記念として、団体のみなさんにTシャツの贈呈を行いました。団体のみなさんは、ボランティア活動を行う際に、お揃いのTシャツを着用して事業所の訪問をされているとのことです。

他のサロンではこんなこともやっています!

講師の方を招いて講習会(プリザーブドフラワー、ハーバリウムなど)

備品を使ったレクリエーション(スカットボール、輪投げなど)

グランドゴルフなどの野外活動

おのまちあったかサロン紹介

30年8月より、新たなサロン団体が開設されました。

赤沼サロン

■日時　毎週金曜日10時～12時

■場所　小野赤沼集会所

■内容　健康チェックや軽運動、茶話会

第28回サマーショートボランティアスクール
7月25日～8月22日

サマーショートボランティアスクールは、町内の福祉施設でのボランティア体験学習をとおして、介護や支援を必要とする高齢者・障がい者との交流を深めながら、人を思いやる優しい心を養うことを目的に実施されております。今年からは新たに、小野町中央さくら保育園様にご協力をいただき、保育施設での活動も可能になりました。

参加者のみなさんは、創作活動、食事や入浴介助、環境整備、共同作業などの活動を行い、目標達成に向けて、真剣に取り組む姿を見ることができました。参加された生徒の方々からは「貴重な体験をすることができました」「また、参加したいです」などの感想も寄せられました。

ご協力していただきました施設の皆様ありがとうございました。

普段あまり経験することがない、食事の介助や、ベッドメイキング、入浴の介助など様々な経験ができ、ボランティアに参加してよかったです。

職員さんにいただいたアドバイスをこれから生かしていければいいなと思います。

特別養護老人ホームこまち荘
小野高等学校　1年　石塚　萌唯

3日間を通して、「ありがとう」と感謝の気持ちを言葉にすることの大切さ、「家族のちから」の素晴らしさに気づかされ、自分の成長にもつながった期間でした。

今後は、ボランティアに参加して学んだことを活かしたいです。

特別養護老人ホーム　さくら
小野高等学校　3年　高崎　希望

3日間のボランティアでわからなかったことをたくさん学ぶことができて良かったと思うし、介護の仕事に就きたいという気持ちが今回のボランティアで高まりました。

今回のボランティアに参加して良かったと思います。

機能訓練センター　さくら
小野高等学校　2年　過足　美咲

私は、今回のボランティア活動でいろんな事を学び、これまでの障がい者のイメージが変わりました。介護について高齢者を介護するという事ばかり考えていたので、これからは障がい者のことについてもよく考えていきたいと思いました。

NPO法人ほっと　プラスこまち
小野高等学校　2年　岡田　幸佐

サマーショートボランティアを通じてたくさんの人と出合いたくさんの事を体験しました。

今後また参加できるのであれば参加したくさんの事を学び、将来にいかしていきたいと思いました。

グループホーム　さくらんぼ
小野高等学校　2年　枡内　　倭

今回ボランティアをやらせていただいたさくらんぼさんでは何も分からない私に家族のようにせっしてくださり家族って大切だから悲しませてたらだめだと思ったのですこしでも家族にやくだてるようにしたいです。

グループホーム　さくらんぼ仲町
小野高等学校　2年　影山　孝輝

今回の実習で私は、自分から積極的に参加することができたと思います。最終日まで、利用者と自分の安全、安楽、自己管理ができたと思います。今回のボランティア活動をいかし、これからの実習などにもいかせるように学んでいきたいです。

JAさくら は～とらいふ
小野高等学校　2年　遠藤　若菜

今回のサマーショートボランティアを通して、保育士になりたいという意志をさらに強くすることができました。このボランティアで学んだたくさんのことをいかし、立派な保育士になれるよう頑張っていきたいです。

小野町中央さくら保育園
小野高等学校　3年　新田　真子

みなさん
お疲れさまでした

3日間、ボランティアに参加して、介護というのは、大変だとずっと思っていましたが、職員の皆さんが、楽しく利用者の皆さんと活動されていて、コミュニケーションが大切なのだと思いました。将来は、コミュニケーションを大切にして人の役に立つことをやりたいです。

小野町デイサービスセンター
小野高等学校　1年　吉田　亜衣

善意のご寄附ありがとうございました

『社会福祉のためにお役立てください』と、社会福祉協議会に対し多くの方々より多額のご寄附をいただきました。

お寄せいただいた浄財は、社会福祉事業の資金として役立たせていただきます。

今回は平成30年6月から平成30年9月までにご寄付いただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。

（敬称略）

篤志（社会福祉のために）

郡山ヤクルト販売（株）
代表取締役 長谷川 進 様

遺志（社会福祉のために）

二瓶　眞	（横町）	（故母 二瓶　桒）
長窪　志真子	（飯豊中）	（故父 長窪　傳恵）
折笠　昭典	（横町）	（故母 折笠　テルヨ）
大竹　典子	（上羽出庭）	（故義母 大竹　キク）
郡司　秀喜	（小戸神）	（故母 郡司　タイ）
郡司　守進	（吉野辺）	（故母 郡司　あや）
佐藤　忠良	（大八）	（故母 佐藤　禮子）
草野　高志	（皮籠石）	（故父 草野　博）
石井　淳一	（浮金下）	（故母 石井　初子）
先崎　誠治	（夏井下）	（故母 矢内　ミツヨ）
遠藤　信一	（本町）	（故父 遠藤　信）
長久保　素広	（湯沢）	（故母 長久保　サチヨ）
先崎　正良	（反町）	（故父 先崎　正二）
宗像　政之	（浮金上）	（故祖父 宗像　安之）
嶋田　順子	（荒町）	（故父 鈴木　實）
大竹　信一	（夏井下）	（故母 大竹　ヨシ子）
常恒　直一	（塩庭二区）	（故母 常恒　アイ子）
佐藤　浩子	（湯沢）	（故夫 佐藤　幸夫）
白石　秀男	（谷津作）	（故叔母 小島　ミヨ）
折笠　博史	（小戸神）	（故母 折笠　ナミ子）
郡司　厚	（荒町）	（故母 郡司　綾子）
宗像　浩	（飯豊中）	（故父 宗像　庄平）
新妻　進	（小戸神）	（故母 新妻　幸子）
板橋　道朗	（荒町）	（故父 板橋　昭）
國分　英孝	（小野山神）	（故父 國分　昭夫）
水野　長三朗	（谷津作）	（故義父 遊佐　信作）
志比奈　敏男	（湯沢）	（故父 志比奈　勝雄）
會田　孝	（谷津作）	（故父 會田　泰男）

社協へ寄贈

ジャパンゴルフツアー選手会　様

ジャパンゴルフツアー（JGTO）選手会が、震災復興支援活動として、2012年度より獲得賞金額の1％を寄付し、東日本大震災の被災地である岩手、宮城、福島の3県に、公用車・福祉車両を寄贈しています。

贈呈式では、ジャパンゴルフツアー選手会会長石川遼選手が福島県社会福祉協議会を訪れ、県内10市町村の社会福祉協議会へ、車両の寄贈が行われました。

小野高等学校　様

小野高等学校よりプランターの寄贈がありました。ベコニアの花は、デイサービス利用者や来客者の鑑賞用に大変喜ばれています。

利用者の方々も送迎の際に「とてもきれいだね」「よく育てられてるね」などのお声をいただいております。

職員一同感謝いたします。

デイサービスセンターだより

買い物ツアー　5月～7月

毎年ヨークベニマルにおいて、利用者の方に付き添い買い物ツアーを行っています。

久しぶりに買い物に出かけた利用者の方もいて、「ベニマルの中が変わっていた」や「自分の目で見て買えるのはいいない」などの喜びの声を多く聞くことができました。

夏祭り　8月6日～10日

職員お手製のもぐらたたきや魚釣り、射的や的あてのゲームで利用者の皆さんからは「子供の頃を思い出して楽しかった」との声を多く聞くことできました。

七夕　7月7日

今年も利用者のみなさんと一緒に、自分の願いごとを短冊に込めて七夕飾りを行いました。利用者の方々は、自分の短冊を見かけると「願いごとが叶うといいなあ」と話をされていました。

敬老会　9月17日～21日

昼食では、お善でのごちそうがでたり、日替わりで歌や踊りの催しものがあり、「ごちそうがすごかった」「余興が楽しかった」などの喜びの声が多く寄せられました。

利用者作品展

鈴木 清一様　作

先﨑 忠男様　作

宇田 秀雄様　作